

第11回 トンネル施工検討委員会シールドトンネル部会 議事概要

1. 開催日時・場所

令和5年10月4日(水) 9:30~11:40
JR 東海品川ビル会議室

2. 出席者

委員：立命館大学総合科学技術研究機構上席研究員 小山 幸則(部会長) ほか6名
(※WEB参加3名含む)(2名欠席)

3. 事務局

東海旅客鉄道株式会社 中央新幹線推進本部

4. 議事概要

(1) 第一首都圏トンネル新設(北品川工区)におけるシールドマシン点検結果・対策

第一首都圏トンネル新設(北品川工区)について、曲線区間での施工が続くなかで、セグメントが組み立てにくくなる傾向が現れたことから、段取り替えにあわせてセグメントやシールドマシンの点検を実施したところ、シールドマシン外周部(スキンプレート)の一部に変形を認めた。セグメント構築によるトンネル構造及びシールドマシンの安全性には問題なく、地表面への影響もないものの、残る調査掘進や今後の本格的な掘進をより安定的に進めるため、段取り替えと並行して変形部の復元を進める旨、事務局から説明を行った。

委員からは、今後の掘進を確実なものとするべく、復元作業の状況を確認しながら慎重に進めていくよう、助言があった。

(2) その他の工区の状況

第一首都圏トンネル新設(梶ヶ谷工区)、(東百合丘工区)および(小野路工区)について、データを取得しながら慎重に調査掘進を進めてきた状況を、また、第一中京圏トンネル新設(坂下西工区)においては、摩耗したカッタービットの交換を繰り返しつつ慎重に仮壁の切削を進めている状況について、事務局から説明を行った。

委員からは、調査掘進が安全かつ確実に進むよう、適切に状況を把握し対処しながら、引き続き慎重に作業を実施していくよう、また、調査掘進で取得したデータについて分析を深めるよう助言があった。